

報告事項イ

平成29年度鳥取県コミュニティ・スクール推進研修会について

平成29年度鳥取県コミュニティ・スクール推進研修会の実施について、別紙のとおり報告します。

平成29年11月22日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成29年度鳥取県コミュニティ・スクール推進研修会について

平成29年11月22日

小 中 学 校 課

1 趣旨

学校が地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」の推進に向けて、これからのコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の在り方及び総合的な推進方針等についての講演、コミュニティ・スクールの効果的な取組事例発表等を通して、各市町村における円滑かつ効果的な導入や取組の充実に資することを目的とする。

2 概要

(1) 日時 平成29年11月10日（金）午後1時から4時30分まで

(2) 会場 倉吉市上井公民館（倉吉市大平町360-1）

(3) 参加者 120名

教職員、保護者、地域住民、学校運営協議会等関係者、教育委員会関係者、地域コーディネーター、学校支援ボランティア、PTA役員等

(4) 内容

① 県の行政説明

② 実践発表

「コミュニティ・スクール導入を決めた経緯と充実方策」

鳥取市教育委員会事務局学校教育課 主幹 竹田 潤 氏

「コミュニティ・スクール導入で学校はどう変わったか」

南部町立法勝寺中学校 校長 田丸 睦悌 氏

③ 講演「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ

講師 文部科学省初等中等教育局参事官(学校運営支援担当)

木村 直人 氏



3 成果

○行政説明によって、コミュニティ・スクールを導入するにあたってのねらいやメリット、推進していく方策としてビジョンや教育振興基本計画への位置付け、導入の手順、市町村への財政的支援、県におけるCSアドバイザーの配置等について県教育委員会としての方向性を示すことができた。



○実践発表では、鳥取市教育委員会としてコミュニティ・スクール導入を進めた背景や地域の実態を踏まえつつ、中学校での縦のつながりを重視したこと、学校運営協議会委員の構成や具体的な取組の紹介等があった。南部町立法勝寺中学校の田丸校長からは、2校にわたってコミュニティ・スクールを導入・推進してきた経験から、学校運営協議会でめざす姿やねらいを熟議したことにより学校と地域の関係が「協力・支援」から「協働・参画」へ変わっていった様子、さらに学校運営協議会委員と

教職員との交流会などを通じて真に「開かれた学校」へと変容した様子、加えて生徒自身の変容についても紹介があり、参加者の共感する姿が多く見られた。

○講演では、文部科学省の参事官より、学校と地域との「連携・協働」を進めていくことが新学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」の実現につながっていくことやこれからの社会において求められる資質・能力、さらにそれを支えていく大人の姿、持続可能な取組に向けての具体的な手法や成果の明示もあり、コミュニティ・スクールという仕組みを導入する意義や重要性の理解が深まった。

4 参加者の感想（アンケートより）

○新たな法改正の中での取組に県教委が力を入れてきたことが、パンフレット作成に見て取れた。管理職のみならず、教職員の意識改善をしていくことが重要である。教職員の仕事の一助になること、また、地域の子どもを地域の人と一体となって育み育てていくという思いを皆が共有していくことが大切だと考える。
(学校運営協議会委員)

○木村参事官の話が分かりやすく、コミュニティ・スクールがイメージしやすかった。また、文科省の方の話を直接聞けて、コミュニティ・スクールのねらいや今後の方向性がわかった。

(学校運営協議会委員)

○実践発表を聞く中で、地教委の話を直接聞ける貴重な機会となりました。地教委にどのような依頼をしていけばよいのかが分かりました。また、校長先生の話では、目標の共有の大切さが分かりました。CSを始めるにあたっては教職員と学校運営協議会の委員との交流、協働作業を大事にしていきたいと思います。
(教職員)

○コミュニティ・スクールがどのようにして現在に至っているのかがよく分かりました。地域とともに子どもを育てるということがとても大切であるということが再確認できました。地域コーディネーターとして自己研鑽していきたいと思いました。
(地域コーディネーター)

○学校は学力だけでなく、将来の生き方、どんな人物を目指すのかを考える場でもあると考えさせられた。各学校で地域力を活かして、「期待」される学校であるべきだと思った。
(PTA)

○コミュニティ・スクールを導入されている学校の実践を伺い、具体的な方向性を確認できた。講演では、ポイントを絞った説明を聞くことができ、何をすればよいのか見えてきた。
(行政職員)

○学校支援ボランティアを5年続けています。小さな力ですが今後も地域の子ども達のために学校に関わっていききたいと思いました。
(学校支援ボランティア)

5 別添資料

パンフレット「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）～地域とともにある学校づくりをめざして～」